

屋外広告物の安全点検の義務化について (豊橋市屋外広告物条例の一部改正)

屋外広告物（看板）の表示者、設置者及び管理者は、公衆の安全確保のため管理を怠らないようにしなければなりません。また、落下や倒壊により深刻な事故を引き起こせば、お店の信用も失墜します。定期的な点検や補修を怠らず安全管理に努めましょう。

豊橋市では、屋外広告物の安全性を確保するため、「豊橋市屋外広告物条例」を一部改正しました。改正の主な内容は次のとおりです。

1. 安全点検の義務化

平成30年7月施行

屋外広告物の表示者・設置者・管理者に、その本体、接合部、支持部分等の劣化及び損傷の状況について、**原則、全ての広告物の安全点検を義務付けました。**

ただし、簡易な広告物など規則で定める広告物については除きます。

2. 点検の箇所及び点検の項目

及び更新許可申請に添付する安全点検書（様式10）の変更

平成30年7月施行

点検の箇所	点検の項目
基礎部及び上部構造	1 上部構造全体の傾斜及びぐらつきの有無 2 基礎のクラック、支柱と根巻きとの隙間及び支柱のぐらつきの有無 3 鉄骨のさび及び塗装の老朽化の有無
支持部	1 鉄骨接合部分（溶接部及びプレート）の腐食、変形及び隙間の有無 2 鉄骨接合部品（ボルト、ナット及びビス）の緩み及び欠落の有無
取付部	1 アンカーボルト及び取付部プレートの腐食及び変形の有無 2 溶接部及びコーキングの劣化等の有無 3 取付対象部分（柱、壁及びスラブ）及び取付部周辺の異常の有無
広告板及び文字	1 表示面板、切り文字等の腐食、破損及び変形並びにビス等の欠落の有無 2 側板及び表示面板押さえの腐食、破損、ねじれ、変形及び欠損の有 無 3 広告板底部の腐食及び水抜き孔の詰まりの有無
照明装置	1 照明装置の不点灯及び不発光の有無 2 照明装置の取付部の破損、変形、さび及び漏水の有無 3 周辺機器の劣化及び破損の有無
その他	1 附属部材（装飾、振れ止め棒、鳥よけその他附属品）の腐食及び破損の有無 2 避雷針の腐食及び損傷の有無 3 その他安全上重要な部分の劣化、破損等の有無

3. 一定規模を超える広告物について有資格者による点検義務化

令和3年7月施行

高さ4mを超える広告物または表示面積の合計が10㎡を超える広告物については、屋外広告士またはこれと同等以上の知識を有する者による点検を義務付けます。

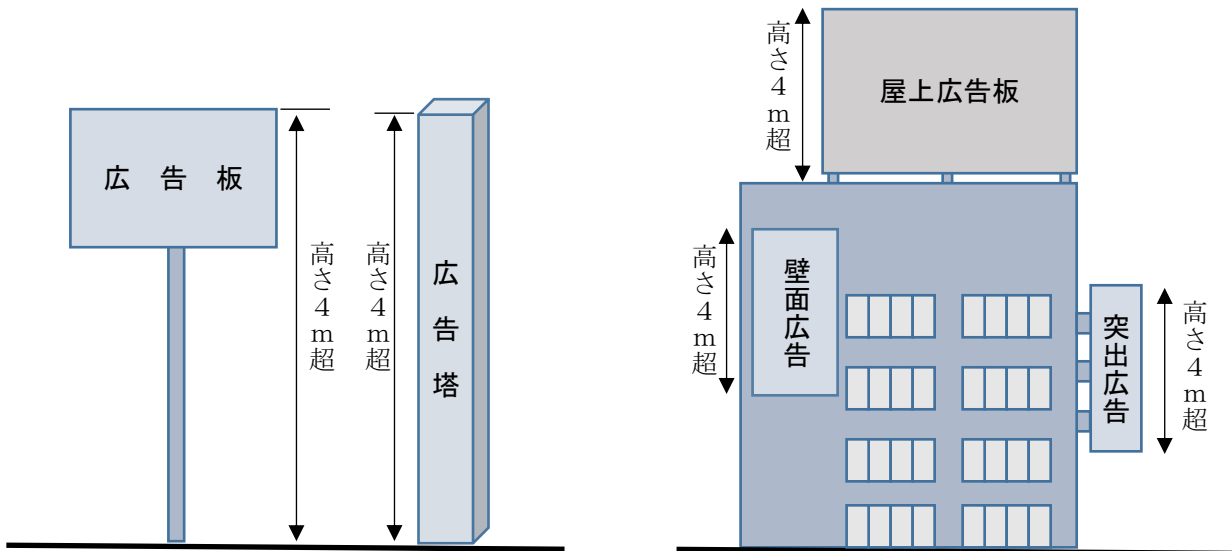
安全点検の対象	点検者の資格	安全点検対象外とする広告物
高さ4m以内 かつ 表示面積10㎡以内	資格不要	○はり紙、はり札等、広告旗の簡易な広告物 ○法令の規定による広告物 ○政治活動広告物 ○選挙運動広告物 ○冠婚葬祭等の広告物 ○公共掲示板に表示する広告物 ○国・地方公共団体の公共目的広告物 など
高さ4m超 または 表示面積10㎡を超	○屋外広告士 ○建築士（1級・2級） ○特定建築物調査員 ○点検に必要な知識を有すると市長が認めた者（屋外広告物点検技能講習会を修了した者）	

※該当する物件の点検を実施される事業者は、早めに上記資格の取得を進めて下さい。

※屋外広告物点検技能講習会については「(一社)日本屋外広告業団体連合会」ホームページをご参照ください。

有資格者による安全点検の対象となる広告物の例

《高さ 4 m を超えるもの》



《広告が表示される面積 10 m² を超えるもの》

